

伸ばすところ

歴史文化

街道にまつわる歴史と文化の発掘と保存

まちづくり

JR草津駅と南草津駅の間を住宅等でつなげる

人口増(あと10年後)の人口の維持(特に若年人口)

人口若年層維持

適正な人口構成

関連する

働く場

高齢者でも働ける場を多くしたい

変えたいところ

道路交通

車がないと移動できないところが多い

道路が狭い

一方通行が多いので、それをうまく利用したい

道路特に安全性を高めたい

ポンヤリと安定感がない

まちづくり

西側東側の格差が生じる

市を分断する様なJR線路が走っており、西側と東側の開発のズレが起きている。

草津市車庫で持続不可

草津市民になったら住民は町内会に加入する

中心市街地上地流動性少ない

中核

医療病院

病院が近くに少ない

進めたいこと

空家、廃屋をなくす

スポーツチームの誕生 草津をホームにした

働き場所を増やして人口も増やしたい

理念思想

フレームづくり

将来を見据えた道づくり

マンション等の建設ゾーンと個人住宅の建設ゾーンを分けて街づくりを描く

ゾーニングのまちづくり

スーパーとマンションの共存の構想

住まいとセゾント 商業ゾーン

車の移動道路整備

行政がやること

草津駅付近の歩道改善

草津西口立体化

地域と大学が連携 まちづくり 大学

言葉踊れど 理念ない

河川管理の徹底 (上流からのゴミの量が非常に多い)

伊佐々川の改修 防災

将来を見据えたまちづくり

防災対策

地域でできること

現在認知症は6-7人に1人という割合で増えつつある。学区で行っている「健康」をテーマに諸々の病気の予防を目標に取り組みを行いたい。

魅力ある人の育成を地域で

空家管理運用

地域医療 地域包括ケア

子育て世代支援

まち協と社協との連携

自助・共助・公助

F

3 松原中学校区

1 実施概要

日 時	令和元年7月27日(土)午前10時～
場 所	草津市立山田まちづくりセンター2階 集会室
参 加	松原中学校区 ○山田学区 参加者：6名 ワークショップ：Aグループ ○笠縫学区 参加者：13名 ワークショップ：Bグループ、Cグループ
次 第	(1) 開会 (2) 草津市の総合計画について (3) ワークショップ (4) 閉会

2 議 事

(1) 開 会

○課長あいさつ

(2) 草津市の総合計画について

○資料に基づき説明

【質疑応答】

質問 現計画の総括評価は、いつ頃出てくるのか。

回答 現在庁内で、総括評価を実施中です。あと1ヵ月位で総括評価が公表できると考えています。

質問 「健幸都市」、「de愛」、「ai彩」、施設の名前は、どこで決めているのか。調和していないような気がします。

回答 名称については、いろいろな手法で決めています。例えば、公募であるとか、「YMITアリーナ」は、ネーミングライツという手法で決めている。

質問 夢のあるような表現で計画されていて、市全体の進むべき方向を示しているのはわかるが、市街地（活気あるところ）にまだ手を加え、成果の上がるところの計画になっており、逆に山田学区等では目に見えた成果が表れていない。課題は出るがどうするかの計画が出ていない。実感として感じられない。

回答 市街地の賑わいと、人口減少地域があるのは事実です。総合計画は総花的なものになりがちであるが、課題については認識しておりこのような地域別の懇談会を初めて開催しているので御意見を賜りたく、よろしく申し上げます。

(3) ワークショップ

○草津市の特性と課題、これからの取組の方向をつくり上げていくために、「伸ばすところ」、「変えたいところ」、「進めたいこと」、「行政がやること」、「地域でできること」についてグループごとに話し合い、導き出していただきました。

①意見概要

グループ	概要
A	<ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、人口増。どこまで人口を伸ばしたいのかを明確にしてほしい。人と人の付き合い、まちづくりが良い。センター。自然環境、農地を中心に緑が豊かであるので、これを健全な状態で保全し今後も田園風景を残してほしい。自営業の開業応援を含め、農業や野菜産地として、地域の資源をより振興して伸ばしていきたい。 ・変えたいところは、土地利用規制、基盤の関係。浜街道は、計画道路でないので歩道が十分に整備されていない。まちづくりの計画で話をしても、行政からは、計画がないのでできないといわれる。特に浜街道の整備をしてほしい。市街化調整区域・市街化区域・農用地区域を抜本的に見直し変えていっていただきたい。町内会の全戸加入、事業予算の交付・活動費用が欲しい。まちづくりセンターの有り方・建て替え等。 ・進めたいことは、都市計画の抜本的見直しをして、線引きの関係や色塗り、都市計画道路も含め見直しを進めてほしい。農地の健全な保全を進める体制をより進めてほしい。まちづくりセンターの建て替え、より良いものになる様に進めたい。その他には、子育ての関係、こども園の設置などが意見として出ています。 ・行政のやることは、企画部門と事業部門との市の連携が特に我々のところでは、望まれています。 ・地域でできることは、新まちづくりセンターの規模や機能、場所を含めた検討をし、人が集まるまちづくりを考える。市全体の事もあるが、議論としては、地域中心のものとなりました。

<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、1番に人口の増加。全国でもトップになったくらい人口が増えている。地域自治活動として、消防訓練、まちづくりセンター中心に活動している、登下校時の見守り隊、挨拶運動などが良いところなので伸ばしていきたい。 ・変えたいところは、まめバスを充実させる。災害が少ないので危機感が少ない。自治会長の負担が大きい。草津駅前の駐輪場少ない、ロータリーが狭い。下笠道が狭く危ない。渋滞を減らしてほしい。車がないと交通が不便。青年団の結成をしてほしい。世代交流が少ない。などが挙がっています。 ・進めたいことは、防犯対策カメラの設置をしてほしい。空き家対策。琵琶湖の積極的活用を進めてもらいたい。大きい病院までの交通手段を充実させてほしい。笠縫学区は、直通バスが無いのでやってほしい。子育ての項目として、市内での学力の均一化が上がっている。草津市は全国から見てどの位置なのか。 ・行政のやることは、免許制度の改正。市の交通機関（まめバス等）の運行を市内全域に広げれば、各地域に人が分散していくのではないか。公的な塾、コミュニケーションなどを学べる塾があっても良いのではないか。合コンの開催により、市を愛してもらい、少子化対策含めて青年団の結成から公的な合コンの開催をしてほしい。 ・地域でできることは、挨拶運動、地域のコミュニケーションをとる。知っている人が増えると犯罪は減る。地域で知り合いを増やす・挨拶をすることが良いのではないか。
<p>C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、変えたいところと表裏一体である。子どもは、両方につながっており「子どもの増加」「子どもとかかわりたいが、そういう機会がない」変えたいところと伸ばしたいところのテーマである。ほかのテーマとして、環境があります。大きなテーマとしては、コミュニティからつながる担い手、その担い手不足がテーマとなっている。地域での町内会の担い手、まち協や大きな団体になっても担い手が不足している。 行政については、多くの意見があったが、空き家問題や、大きく言うと交通に関する事が多い。道路の幅・歩道の整備などです。 ・進めたいことは、担い手というテーマの中で、農業関係の担い手もない。地域で育った子ども達が地域に愛着を持てるようにしていきたい。その中でその子たちが担い手になってほしい。若者の参加不足がある中、地域の中でコミュニティを活性化させていくことで、担い手が生まれていくのではないか。 ・行政のやる事が空白なのは、多すぎて書けないということで、何もないということではありません。 ・地域でできることは、個人情報の開示が厳しく、身動きが取れない、そこで町内会単位で個人情報を集めシステムを作り、それを横のつながりで共

有する。その後それを学区（まち協）に持っていき、そしてそれを地域のまちづくりにしていけばよいのではないか。

②参加者感想

- 意見をまとめるには良いワークショップだが、深化させるには物足りない。
- 楽しい時間だった。どうしても自分の地域中心の考えになってしまった。
- 良い内容で大変良かった。
- 考えをまとめるのに良い機会であった。
- 学区単位での懇談会開催も希望する。
- 様々な意見が聞けて良かった。
- 普段は考えないことを話せる機会があり、良かった。
- いろんな世代の人の意見や、学区の発表も聞けて良かった。
- インフラ整備を進めてほしいと思う。（実績数値ではなく）
- グループ分けすることによって具体的にどうすれば良いか改善点が出たのでよかった。
- 様々なよい所を改めて知り、愛着をもった。今後もより発展を望む。
- 若い人たちと意見の交換ができた。
- 本日のワークショップで出た提案は、必ず行政に反映してほしい。
- 人が変わるといろいろな意見が出ることがわかった。若い世代の人の意見も必要。
- 自己で思い浮かばないことが多く出て、又、勉強できたし、驚いた。
- 世代によって考えていることが違ったりして、面白かった。
- 総合計画とはスケールが大きく感じたが、取り組むととても身近なものであると感じた。
- 参加させて頂き、地域に目を向けたいと思った。
- いろいろな意見が出て、大変良かったと思う。
- 良くなっていくことに協力できることがあればと思う。

③まとめ

- 伸ばすところとして、人口が増加していること。中でも子どもが多く活気があることが挙げられています。その中で山田地区では、市としては、人口何人を目指しているのかということが挙げられていました。また、コミュニティとして、子育て施策の充実や、地域の活動、交流などの良いところを伸ばすことが挙がっていました。他には、自然環境、緑が豊かさ、野菜などの名産品を活かすことが挙がっていました。
- 変えたいところとして、道路の整備の問題が挙がっています。山田地区では、浜街道。笠縫地区では、下笠道が挙げられていました。他には、まちづくりセンターのあり方、自治会長の負担が大きいことが挙がっていました。それに加え、笠縫学区では、担い手の問題が挙げられていました。また、山田学区では、都市計画の大胆な見直し（特に市街化調整区域内）が挙げられていました。

- 行政がやることは、企画と事業の連携、まちづくり協働課の再構築や、右折信号の設置、小型バスの運行、公的な塾をつくったり、合コンの開催が挙がっていました。
- 地域でできることは、SNSの活用や、行事の実施とその周知、町内会での個人情報を収集して、共有することなどが挙がっていました。

伸ばすところ

コミュニティ

人口増

- 人口何人をめざすのか？明確に
- 人口増
- 自営業の開業応援
- 農業・漁業の連携強化
- 野菜産地としてより発展を
- 小学校区単位(14)でのコミュニティの推進
- 人と人とのつながりが強い
- 子育て施策の充実(こども園化)
- まちづくり市協働課の活動内容
- 老人の知恵

自然環境

- 水田や畑地の緑豊かな環境を健全に保全する
- 田園風景

地域

- 自治会(町内)の自衛活動
- 近所づきあい
- 地域のつながり(共助)
- 地域の多様な資源の発掘活用

変えたいところ

浜街道

- 浜街道の拡幅
- 幹線道路整備
- 浜街道幹線道路の整備
- 都市計画道路でない浜街道の整備
- 都市計画道路も含めて

町内会

- 町内会への全戸加入
- 町内会への事業予算の交付
- 町内の相互つきあい

土地利用規制

- 都市計画の大胆な見直し(特に調整区域内)
- 市街化区域や農地・農用地の将来的あり方を踏まえ、抜本的見直し
- 若い人は希望してもこの地域で家が建てられないので、これを可能にしたい
- 旧萩津川の活用策の再検討(未整備区間の見直しも含めて)

まちづくり組織

- まちづくりセンターのあり方
- 地域のまちづくり行政のまちづくり
- 行政の(部・課)再構成
- 商業施設も含めたまちづくりセンターの建設
- 市(行政)の担当課の見直し
- 子育て支援
- 農産物の流通

都市部を中心とした発展
企業、大学等と連携し、学区内の若者定住化(空き屋を活用した定住)

進めたいこと

- 都市計画の抜本的見直し(線引き、区域区分、都市計画道路)
- 農地の健全な保全を進める体制整備
- 山田町海線沿いの市街化区域化により沿道サービス等の充実
- 人が集まりにぎわいセンター(ひとづくりセンター)とづくりセンター(ひかりセンター)エリアの開発、オンラインワンのセンター
- 行政と連携したまちづくりセンター(ひとづくりセンター)とづくりセンター(ひかりセンター)の開発、オンラインワンのセンター
- 住民のつながりイベント開催
- 町内会組織の参加(強化)の支援策
- まちづくりの市と地域の協働の推進
- 子育て希望の(近くの)こども園に入りたい
- 各学区にこども園設置

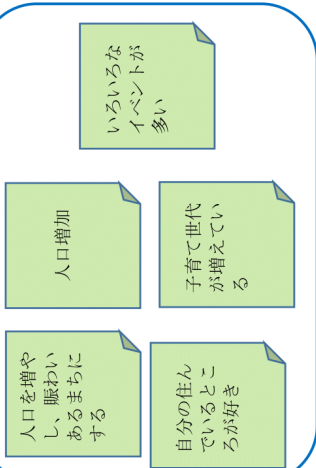
行政がやること

- まちづくり協働課の再構築
- 近街道に歩道設置
- 公共交通の整備
- 地域のまちづくり計画の積極的支援
- 新センター建築にかかわる費用
- 企画部門と事業部門の連携強化

地域でできること

- 新まちづくりセンター規模、機能、建築場所
- 人が集まるまちづくり
- 子育て支援

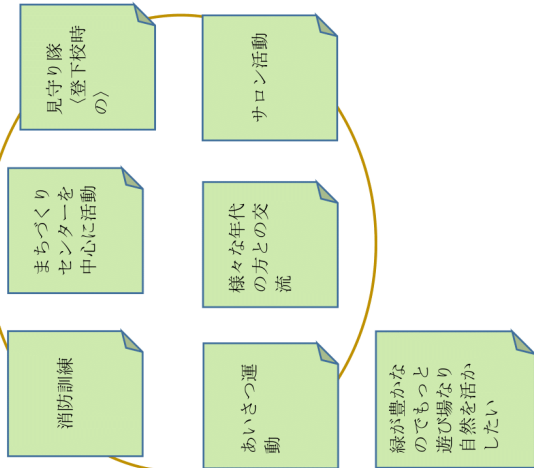
伸ばすところ



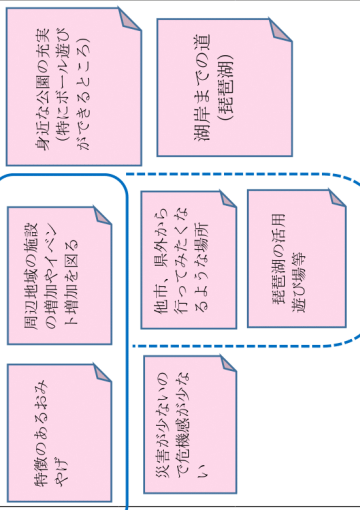
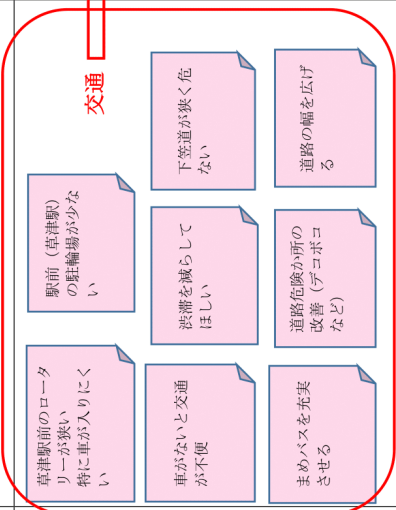
人口が増加



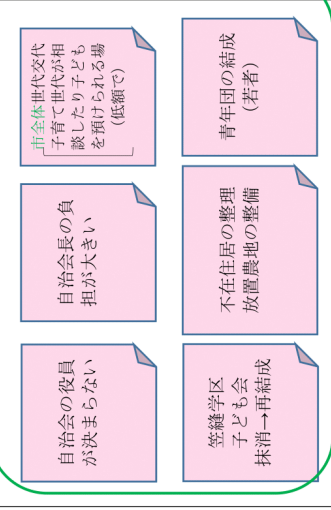
地域自治活動



変えたいところ

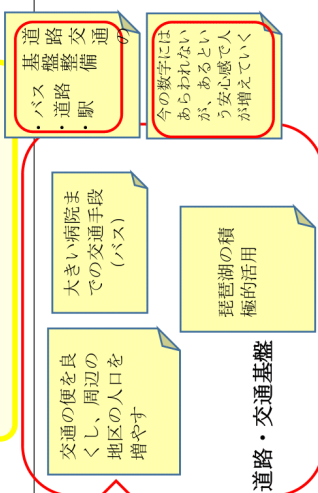


自治活動

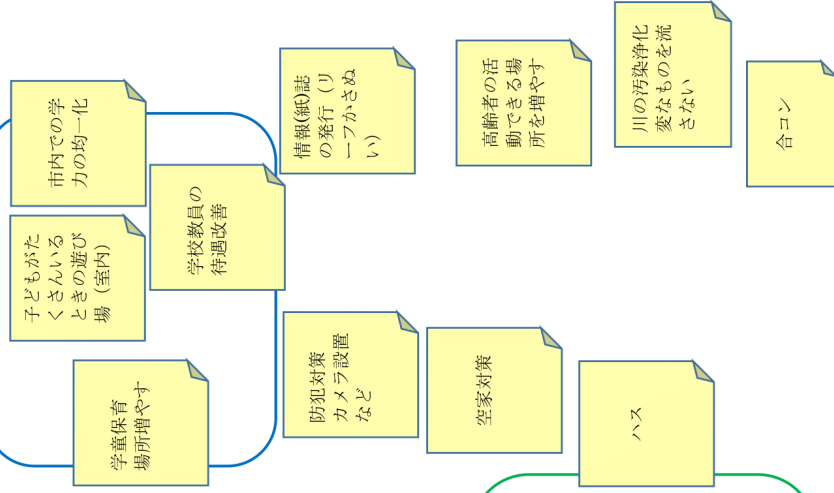


全体で参加していく必要がある!

進めたいこと



子育て



行政がやること



地域でできること

